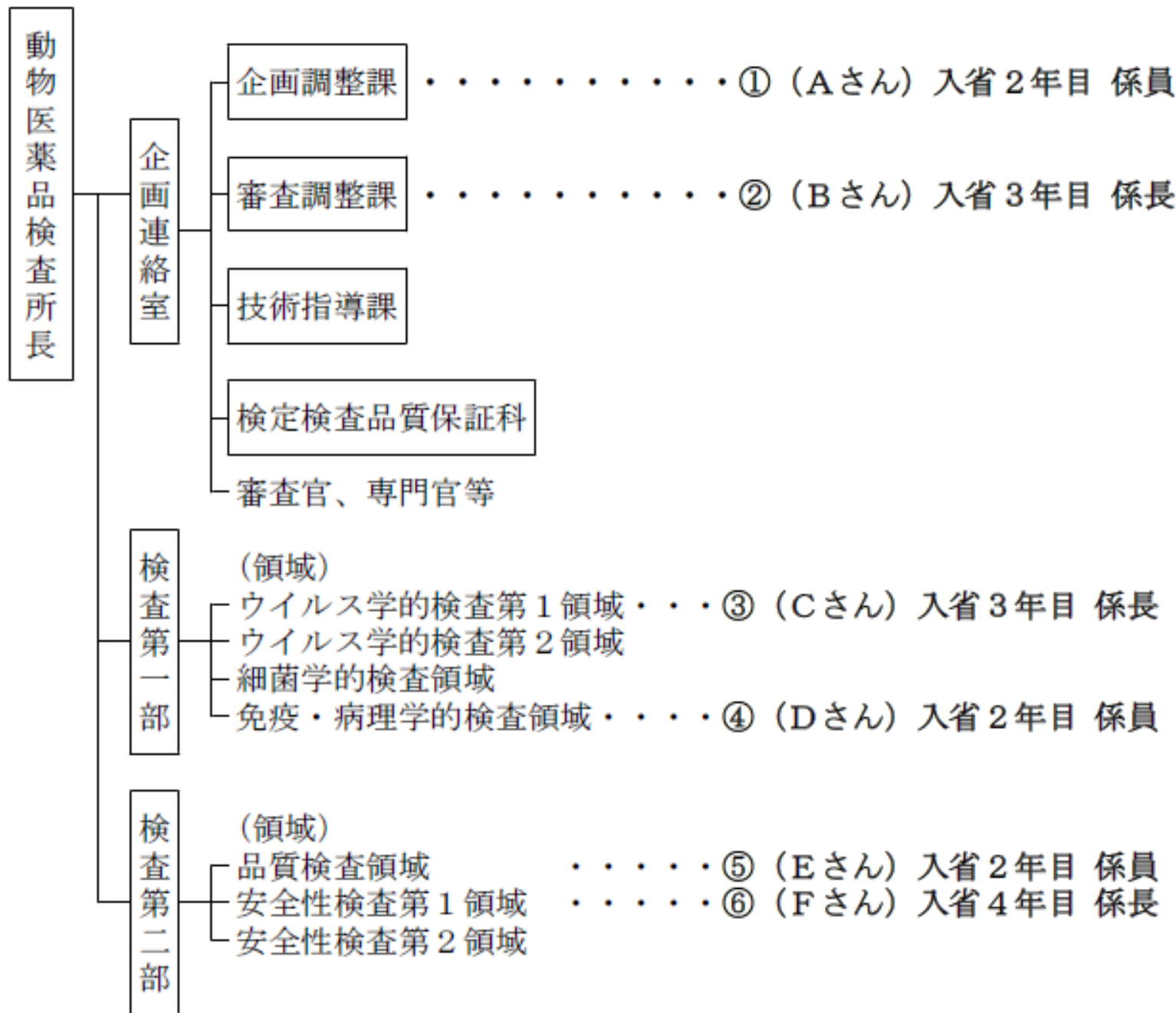


動物医薬品検査所 若手職員の1日①

動物医薬品検査所組織図（※庶務課等一部省略）



動物医薬品検査所は大きく分けて「企画連絡室」「検査第一部」「検査第二部」の1室、2部に分かれて業務を行っています。企画連絡室の中でも3つの課と1つの科に分かれており、課・科によって業務内容が違うのはもちろんのこと、検査第一部、検査第二部も7つの検査領域に分かれていて、業務内容が大きく異なります。

ですので、動物医薬品検査所の業務等を少しでも知って頂ければと思い、入省2～4年目の若手職員が業務の紹介や1日の仕事内容を作成しましたので是非ご覧ください。

これを見て頂いて、受験している皆さんが動物医薬品検査所に興味を持っていただければ幸いです。

① Aさん（入省2年目 企画連絡室 企画調整課）

1：自分の仕事内容について

動物用医薬品の国家検定の受付、検定結果の取りまとめ・公表、研修会や委員会の事務局、本省の動物薬事に係る部署との連絡調整等を担当しています。

2：入省の動機と動物医薬品検査所の魅力について

農水省のインターンに参加したとき、農水省の獣医師は職域が広く、さまざまな経験をするチャンスのある職場だと感じ、受験しました。

動物医薬品検査所は、子育てとお仕事を両立している女性職員の方々が多く、またそれに対する理解も深く、魅力のひとつだと思います。

3：ある一日の仕事の流れ

08:30 登庁
09:30 国家検定品の受付、書類のチェック、メーカーとの面談
12:00 お昼休み
13:00 研修会の準備
15:00 検定結果の取りまとめ、公表の準備、本省との連絡調整
17:15 退庁。課長お勧めの店でケーキを買って帰宅

② Bさん（入省3年目 企画連絡室 審査調整課）

1：自分の仕事内容について

動物用医薬品（ワクチン、感染症診断キット等）の承認審査業務を行っています。メーカーから提出される申請資料について、ワクチン等の有効性や安全性が担保されるように、規格の設定や開発試験の結果について科学的な観点からその妥当性を確認しています。

2：入省の動機と動物医薬品検査所の魅力について

大学時代の実習で、牛の診療にまわり、感染症に困る農家の方々にお会いしたこと、疾病予防に注力する獣医の先生とお話したことから、動物用ワクチンに興味を持ったことがきっかけです。

当所では動物用医薬品の品質を確保するための規制について厳しい目で見ただけでなく、品質の確保に不要な規制を見直して、開発される動物用医薬品の上市を促進することもできます。

3：ある一日の仕事の流れについて

09:00 登庁。メールや郵便物のチェック。
10:00 承認申請があった業者と申請品目について対面でヒアリング。
12:00 お昼はお弁当持参
13:30 動物用ワクチンの承認申請書類の審査。業者に確認すべき点、不足している試験等について指摘をまとめる。
15:30 新たな品目の申請を受領。申請として適切であることについて所内の会議で確認するため、会議資料案を作成し、上司に相談。
17:00 本省より、承認を受けている医薬品に関する調査の依頼。所内のデータベース等から情報を整理して調査結果を報告。
18:30 業者から現在行っている医薬品の試験の内容の見直しについて問合せを受け、検査部に技術的な助言を求め、対応方針案を作成し、作業依頼をして19:30退庁。

動物医薬品検査所 若手職員の1日②

③ Cさん（入省3年目 検査第一部 ウイルス学的検査第一領域）

1：自分の仕事内容について

市販前の動物（主に牛、馬、豚、犬、猫、魚）用ワクチンの安全性および有効性を培養細胞や実験動物を使用して検査しています。

また、企業が販売を予定している動物用ワクチンの承認申請書を読み、承認できる内容か判断する等の審査もしています。

2：入省の動機と動物医薬品検査所の魅力について

2010年に発生した口蹄疫をきっかけに農林水産省での仕事に興味がわきましたが、それ以外にも研究や国際的な仕事をしたいと思っていたため入省しました。

動物医薬品検査所では動物薬事という行政の仕事を行うことができるだけでなく、検査業務に関連した研究を行ったり、国際機関であるOIEと連携した国際的な仕事をしたり、様々な業務に携わり多様な考え方を身につけることができる点が魅力と思います。

3：ある一日の仕事の流れについて

09:00 登庁
09:30 ワクチンの安全性を検査するため、動物舎で実験動物にワクチンを接種
12:00 昼食（家で作ったり、通勤途中のパン屋で購入する日も。ランチ会を開催し、お寿司等を配達してもらう日もあります）
13:00 実験室でワクチンのウイルス含有量検査、検査の合間に申請書の確認や論文検索
18:00 退庁。英会話教室へ

④ Dさん（入省2年目 検査第一部 免疫・病理学的検査領域）

1：自分の仕事内容について

ワクチンの国家検定、再生医療・バイオ医薬品に関して承認審査の相談対応、病理検査関連やOIE関連の業務を行っています。

また、再生医療・バイオ医薬品の品質評価手法について研究を行っています。

2：入省の動機と動物医薬品検査所の魅力について

畜産農家の現場を支えたい、国際業務に携わりたいと思い入省しました。

大学で学んだ知識を活かし、科学的知見をもとに現場を支えることができるとともに、学会参加・研究等により自己研鑽を図ることができることや、当所が国際機関であるOIEの協力機関に認定されており、幅広く国際業務を行えることなどに魅力を感じています。

3：ある一日の仕事の流れについて

08:30 登庁
09:30 病理ユニットメンバーで打ち合わせ、病理検査関連業務
10:30 再生医療・バイオ医薬品について動物用医薬品会社と面談
12:00 持参したお弁当で昼食。昼食後は趣味のスペイン語勉強
13:00 国家検定の実施（マウス・モルモットの体重測定及びワクチン接種）
15:00 ラボワーク（再生医療・バイオ医薬品の品質評価手法について研究）
17:15 退庁。習い事のピアノへ。

⑤ Eさん（入省2年目 検査第二部 品質検査領域）

1：自分の仕事内容について

市販されている動物用医薬品を抜き取りし、それらの品質検査を行っています。

医薬品は、承認を受けたものしか国内で販売することができません。

獣医師や飼い主さんが実際に使用する医薬品の品質が、承認を受けた内容と合致しているかを調べています。

2：入省の動機と動物医薬品検査所の魅力について

臨床に進むことも考えましたが、地域の動物を治療するだけでなく、施策を通じて全国の動物の病気の予防や健康の向上にも貢献できることに魅力を感じ、公務員を志望しました。

また、職員一人一人が動物医薬品の専門家であり、日々様々なことを教わることができる環境が魅力です。また、薬剤師の職員もあり、今まで知らなかった分野のお話を聞くことができ興味深いです。

3：ある一日の仕事の流れについて

08:30 登庁
10:30 市販の動物用医薬品の品質検査（収去検査）
12:00 お昼（お弁当を作ってきたり、買ってきたり）
13:00 収去検査（続き）、合間に資料作成等
18:00 退庁

⑥ Fさん（入省4年目 検査第二部 安全性検査第1領域）

1：自分の仕事内容について

家畜由来細菌における薬剤耐性のモニタリングに携わっています。

ヒト医療及び獣医療における薬剤耐性菌のまん延が深刻な問題となっているため、抗菌薬の慎重使用の推進、国民に対する普及啓発、薬剤耐性菌のモニタリング等、他省庁と連携して様々な薬剤耐性対策に取り組んでいます。

2：入省の動機と動物医薬品検査所の魅力について

鳥インフルエンザや口蹄疫等の家畜伝染病のまん延によって財産を失った農家さんのお話を聞いて、二度とそのようなことが起きないでほしいと思ったのがきっかけです。

農林水産省では、自分のした仕事が国民に反映させることができるので非常に魅力的だと感じます。当所では行政と研究の両方に携わることができるのが魅力です。

3：ある一日の仕事の流れについて

09:00 登庁、メールチェック
申請された動物用医薬品の承認審査業務
10:00 製薬メーカーとの打ち合わせ
→申請された動物用医薬品の内容について聞き取り
12:00 ランチ@所内（外出して近くのラーメン屋に行くことも）
13:00 部内打ち合わせ
14:00 薬剤耐性菌の検査・研究
17:45 退庁。温泉へ